

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	民間借上型市営住宅による供給戸数(累計)	戸	82	R2	90			130
2	木造住宅の耐震化率	%	90.3	R2	91.5			95.0
3	空き家が活用された件数(累計)	件	23	R2	43			70
4								
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目	重要度	満足度	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1	快適な住環境が整っている	重要度	1.15			— 令和5年度の市民アンケートの結果を踏まえて、次年度に考察します。
		満足度	▲ 0.09			
2		重要度				
		満足度				
3		重要度				
		満足度				
4		重要度				
		満足度				

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 住宅セーフティネットの確保	老朽化した市営住宅から民間借上住宅等への住み替えを行った。また、住宅確保要配慮者に必要な住居を提供するため、民間住宅を活用した供給戸数の確保を行っていく。
② 安全・快適な住環境の整備	木造住宅の耐震化に対して補助金、狭あい道路の解消に対して助成金や報償費を交付した。また、宅地等の耐震化を推進するため、国や県と協議を行っていく。
③ 空き家・空き地の対策・利活用	空き家情報バンク制度を通じた適切な空き家情報の提供や空き家の改修に対する支援を行った。また、適正管理に対する当事者意識醸成のため助言や指導を行っていく。
④	
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

<p>住宅セーフティネットの確保については、老朽化した市営住宅から民間借上型市営住宅等へ1世帯住み替えを行ったが、建築資材価格高騰等の理由により新たな民間借上型市営住宅を確保することができなかった。安全・快適な住環境の整備については、木造住宅の耐震化に対し無料耐震診断や補強計画・工事、リフォーム、除去工事に係る費用に対する補助を行うことにより無料耐震診断70件、補強計画2件・補強工事5件、リフォーム工事5件、除去工事55件の事業を行うことができた。また、狭あい道路後退用地整備においては助成金や報償費を交付することで50件の一般申請があったが、申請が増えたことにより予算が不足し、舗装が未施工となってしまう箇所が発生した。空き家・空き地の対策・利活用については、市内の空き家の有効活用により定住を図るため、空き家情報バンクの拡充をし情報提供するとともに、売買や賃貸借契約に要する仲介手数料の補助や取得費ローンの借入金利引き下げなど空き家の取得に係る援助やリフォームに係る補助を行ったことで登録件数67件の内、成約に至った件数は38件となった。</p>	<p>B</p> <p>まずは進んだ</p>
---	-------------------------------

今後の展開方針

住宅セーフティネットの確保については、民間借上型市営住宅の促進を図っているが近年の建築資材価格の高騰、人手不足などの影響などにより建設計画が大幅に遅れていることから、事業者や建築・不動産の関係団体などに積極的に働きかけを行い、民間借上型市営住宅戸数の確保を図る。安全・快適な住環境の整備については、引き続き木造住宅の耐震化に努めるとともに狭あい道路後退用地整備は寄付を受けた用地について舗装工事が遅れていることから早期に整備を行い安全な住環境の整備を図る。空き家・空き地の対策・利活用については、登録数、成約数共に一定の成果はあったが、引き続き住宅、建築、不動産関係団体等への空き家情報バンク制度の案内や空き家情報バンクのホームページで補助制度を紹介するなど登録された空き家の成約や利活用に結びつくようホームページの充実を図る。